

2020年 2月 6日
京成電鉄株式会社

更なる輸送の安全性向上のために 駅ホーム上の非常停止ボタンとC-ATS(自動 列車停止装置)との連動化工事が完了しました 2020年2月1日(土)～ 全線運用開始

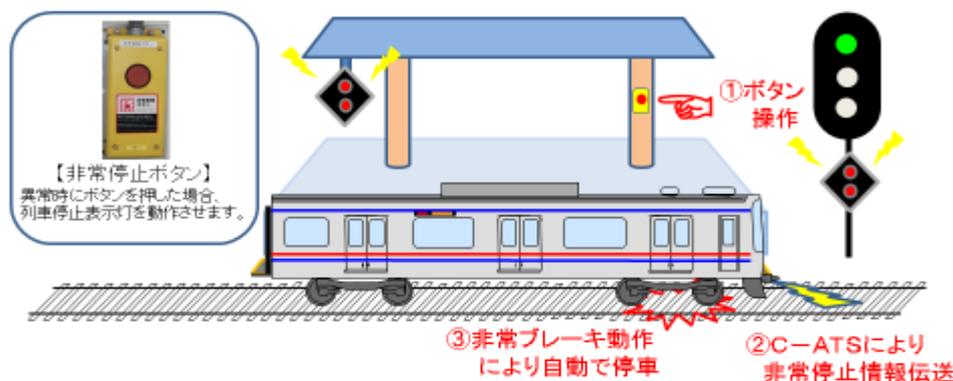
京成電鉄(本社:千葉県市川市、社長:小林 敏也)では、駅ホームにおける安全性向上のために進めていた、ホーム上の非常停止ボタンとC-ATS(自動列車停止装置)との連動化工事をすべての区間で完了し、2020年2月1日(土)始発より全線で運用を開始しました。

2017年度より当工事を進め、順次稼働してまいりましたが、今般全駅への整備が完了しました。非常停止ボタンは、駅構内や線路上などに異常があった場合に操作するものです。

従来は、①ホーム上のボタンが操作されると、②危険を知らせる「列車停止表示灯」が動作し、③それを目視した運転士の非常ブレーキ操作により手動で停車させていました。今回の連動化により、①ホーム上のボタンが操作されると、②C-ATSにより非常停止情報が付近の列車に送られ、③運転士の非常ブレーキ操作の補助として、自動的に非常ブレーキを動作させ停車させるようになりました。

当社では、今後も、お客様に安全・快適にご利用いただけるよう、安全対策の強化やサービス向上に取り組めます。

以上



連動後の動作イメージ